

第6章 計画の目標

- 1 計画の目標
- 2 目標に対する数値指標・目標値

第6章 計画の目標

1 計画の目標

地域公共交通が抱える課題に対して、「基本方針と将来像」を踏まえ、本計画の目標は以下のとおり設定します。

地域公共交通が抱える課題

①多様な交通モードの連携・活用による地域公共交通体系の再構築

地域公共交通に係る財政負担や交通事業者の経営状況等を鑑みた場合、人吉球磨地域に存在する鉄道、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、タクシー等の多様な交通モードを連携・活用させ、鉄道の復旧段階等に応じて、地域住民の日常生活への対応、さらには地域内交流や観光需要へ対応するような地域公共交通体系への再構築が必要です。

②地域公共交通に関する情報発信の強化

人吉球磨地域全体における地域公共交通の一元かつ一体的な情報提供が未実施の状況です。地域全体での移動ニーズ等を考慮した情報発信を行うとともに、自家用車依存からの脱却に向けて地域公共交通が一丸となった情報発信の強化が必要です。

③地域公共交通利用促進に向けた機運の醸成

人吉球磨地域における現在の地域公共交通利用者は、小中学生や高校生、高齢者といった運転免許証等を保有しない人に限定的となっています。また、地域住民の地域公共交通に対する関心も低く、地域公共交通の利用促進、さらには新規利用者の獲得に向けて地域全体で地域公共交通利用促進に向けた機運の醸成が必要です。

計画の目標

目標①

地域公共交通の再構築と利便性向上

地域住民の日常生活への対応や交流人口の確保・拡大に向けて、人吉球磨地域に存在する鉄道、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、タクシー等の輸送資源を活用しつつ、役割分担の明確化や連携、さらには便利で持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築により、地域公共交通の利便性向上を図ります。

目標②

地域公共交通に関するサービス充実

地域住民のみならず観光客が気軽に、かつ簡単に地域公共交通を利用できるよう、情報提供や運賃面でのサービスの充実を図ります。

さらには、人吉球磨地域全体において地域公共交通のみならずその他施設等と一体的なサービスを提供することで、地域公共交通の利用促進を図ります。

目標③

多分野連携による利用機運の醸成

地域公共交通の利用促進、さらには地域公共交通の維持・確保に向けて、地域住民、交通事業者、行政、その他まちづくり・福祉・教育・観光分野の関係機関との連携強化を図り、地域住民のみならず人吉球磨地域全体で地域公共交通に対する利用機運の醸成を図ります。

2 目標に対する数値指標・目標値

1 で設定した目標に対して、管理・評価する数値指標とその目標値を以下のとおり設定します。

なお、国庫補助対象系統については、毎年度の補助申請において、各系統に関する目標を計画「別紙」に記載し、認定を受けることとなっています。

数値指標	現況値	目標値 (令和 8 年度)	設定の考え方
1) コミュニティ交通の新規導入もしくはサービス見直し等を行った市町村数	-	10 市町村 (新規)	幹線系統と一体となりコミュニティ交通の充実を図ります
2) くま川鉄道の年間利用者数	710 千人/年 (R1 年度実績)	710 千人/年以上 (維持)	人口減少が進展する中、現在の水準（豪雨災害以前の水準）を維持します
3) 地域間幹線系統路線バス等の利用者数	128 千人/年 (R1 年度実績)	128 千人/年以上 (維持)	
4) 市町村が運行するコミュニティ交通の年間利用者数	約 74 千人/年 (R1 年度実績)	74 千人/年以上 (維持)	
5) 地域間幹線系統路線バス等に係る年間財政負担額	153,608 千円/年 (R2 年度実績)	153,608 千円/年以下 (削減)	運行単価が増加する中、現在の水準を維持します

6) 地域間幹線系統路線バス等の IC カード利用率	34% (R2 年度実績)	50%以上 (増加)	IC カードの普及を図り、利用率を向上させます
7) 観光客の地域公共交通機関利用率	-	21.9%以上 (増加)	豪雨災害からの復興に向けて、観光客の公共交通利用率を向上させます

8) 地域住民の地域公共交通に対する認知度 (今後の見直し等に対する認知度)	17.5%	35.0%以上 (増加)	地域と一体となった取り組みにより、認知度向上を図ります
---	-------	-----------------	-----------------------------

- 今後、地域間幹線系統路線バスの見直しと併せて、コミュニティ交通の新規導入や現在のコミュニティバス、乗合タクシーなどの路線、ダイヤ、運賃等のサービス内容について見直しを行った市町村数
- 目標値には五木線及びあさぎり駅前～市房登山口間見直し後のコミュニティ交通の輸送人員含む
- 人吉市（まめバス、じゅぐりっと号、乗合タクシー）、錦町乗合タクシー、多良木町乗合タクシー、水上村コミュニティバス、相良村乗合タクシー、五木村（コミュニティバス、リレタクシー）、山江村乗合タクシー、球磨村コミュニティバス、あさぎり町乗合タクシー が対象
- 目標値は、五木線及びあさぎり駅前～市房登山口間見直し後のコミュニティ交通の運行に係る委託費等含む
- 現況値は不明（豪雨災害により鉄道が運休であることから、高速バスを除き少ないことが想定）
目標値は平成 27 年に実施した観光客ヒアリング調査結果より、JR・くま川鉄道・路線バス・タクシーの利用率
- 本計画を踏まえて実施する地域公共交通の見直しなどに対する認知度
現況値は平成 31 年 4 月の路線バスの再編・見直しに対する認知度（令和 3 年度利用者アンケート調査結果）

